

1947年の飯田，1948年の福井，1949年の能代，1950年の熱海など戦後まもなく大火が相次ぎ，市街地大火の防止は，我が国における防火上の最も中心的な課題でありました。

大火や火災を科学的に研究して，それを防ぐことを目的とした専門学会の設立は社会の多くの人々に大変期待されておりました。このような状況の中，「火災現象、防火及び消火に関する研究、調査を行い、火災による被害の軽減を図ること」を目的として、1950年に日本火災学会設立に至りました。

上記注意書きに沿った専門委員会が設置されました。

災害調査、基礎研究を基礎として火災学会会員の専門性を高め、防災計画への参画、災害対応支援を行えるように社会との協力を行い、防災庁とも連携する枠組みを検討中であることから準備段階から情報交流を期待する。